■お手入れのしかた

- ●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- ●お手入れのときは、板金部品などの切り口により手を切る場合がありますので、厚手の手袋を着用して行なってください。
- ●汚れが目立ってきましたら、中性洗剤の水に浸した布で汚れを落し、更にきれいな水でふいてから、乾いた布で充分湿気をふき取ってください。

※塗装面の清掃には、シンナー・ベンジン・灯油・ガソリン・ベンゾールなどを使用しないでください。

- ●モーター・スイッチ・コンデンサーなどの電気部分は水に浸さないでください。

■アフターサービス

三菱工業用換気扇のアフターサービスは、お買求めの販売店へお申付けください。なお、ご不審のときは、最寄りの「三菱電機お客さま相談センター」へご相談ください。

■部品保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

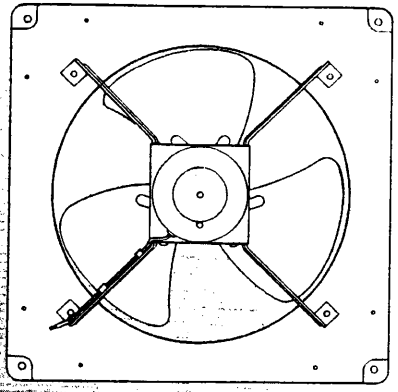
三菱電機株式会社
〒110 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

8406C㊞R
588H51474

三菱工業用換気扇

S3・SN3・A3形
S3U・S3Y形
QS3・QA3形

取扱説明書

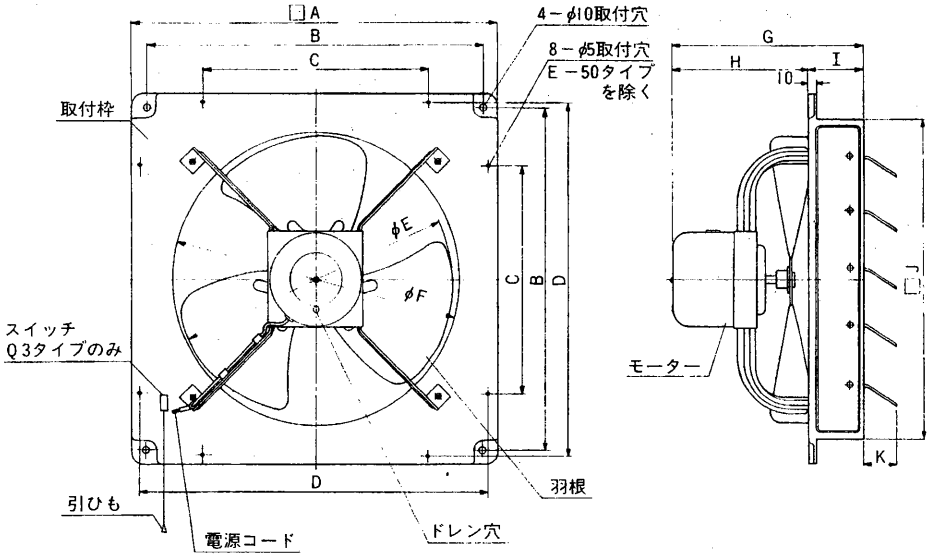


上手に使って上手に節電

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

ご使用の電気品の説明書は、保存しておいてください。
万一、ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

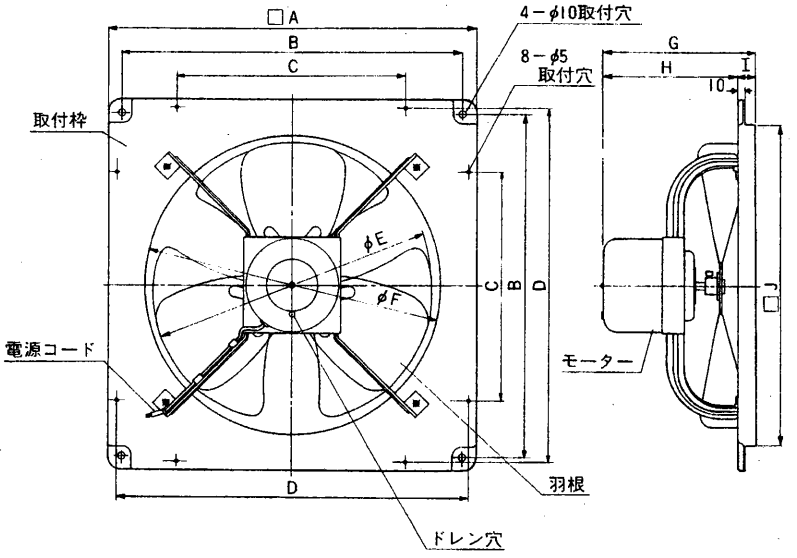
■外形寸法図（シャッター付き換気扇）



変　化　寸　法　表

形　名	電　源	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
E－25S3 E－25SN3	単相100V	360	320	220	325	250	260	250	175	75	294	55
E－30S3	単相100V	410	370	240	375	300	310	250	175	75	344	44
E－30SN3	単相100V											
E－30S3U	単相200/220V											
E－30S3Y	三相200/220V											
E－30QS3	単相100V											55
E－40S3	単相100V	510	470	320	475	393	404	263	188	75	440	50
E－40SN3	単相100V											
E－40S3U	単相200/220V											
E－40S3Y	三相200/220V											
E－40QS3	単相100V											55
E－50S3	単相100V	610	570	—	—	506	512	334	259	75	540	65
E－50SN3	単相100V											
E－50S3U	単相200/220V											
E－50S3Y	三相200/220V											

■外形寸法図（シャッターなし換気扇）



変　化　寸　法　表

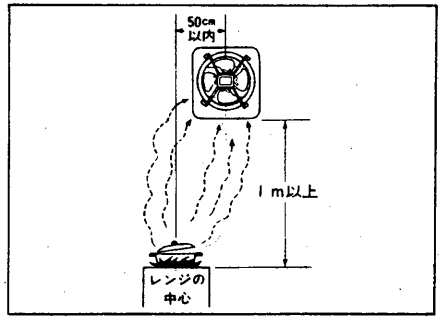
形　名	電　源	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
E－30A3 E－30QA3	単相100V	410	370	240	375	300	310	200	175	25	344
E－40A3 E－40QA3	単相100V	510	470	320	475	393	404	213	188	25	440

■取付位置

1．調理室・飲食店の場合

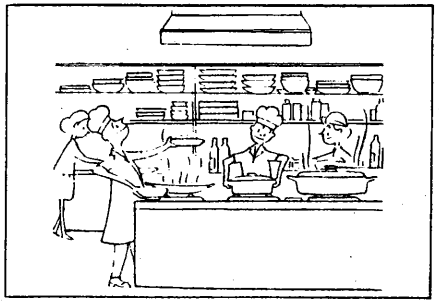
●効率よく換気させるには、レンジの真上が最も良い位置です。(レンジの中心より左右50cm以内であれば、上昇する煙を直接排気できます。)

●レンジの真上に取付ける場合、レンジを空だきした場合などは、周囲温度が異常に上昇しますので、レンジからは1m以上離して取付けてください。



●ガス湯沸器は、種類によって排気温度が100℃を越える場合がありますので、真上での取付けはさけてください。

やむをえず取付ける場合は、湯沸器の上部にしゃ熱板などを設けて、換気扇の吸込温度が40℃以下になるようにしてください。



●換気扇は、40℃以下でお使いください。

40℃を越える雰囲気の中で長時間使用されますと、モーターやコンデンサーなどの電気部品が劣化しやすくなったり、軸受け部分の給油が不完全になり、軸と軸受けの焼付きの原因となりますので充分ご注意ください。

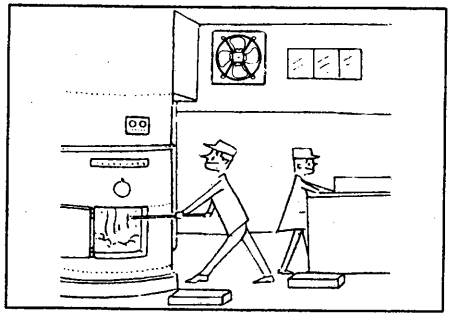
2．工場の場合

●湿度の高い場所には、SN3タイプの換気扇を使用してください。

●塩酸・硝酸など、酸の濃度の高い所では使用しないようご注意ください。

●この換気扇は、軸受け部分にボールベアリングを使用しておりますので、取付場所によって、上下方向に取付けて差しつかえありませんが、シャッターは取除いてください。(シャッター付き換気扇の場合)

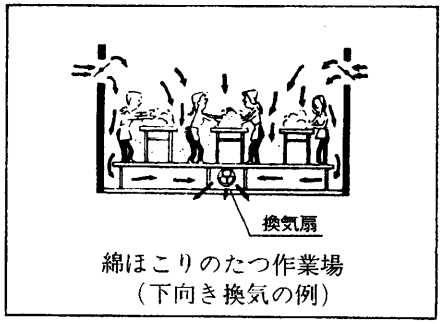
モーターを下側にして、取付ける場合は、ドレン穴のビニールキャップを外してください。



3．綿ほこりのたつ作業所の場合

●綿ほこりのたつ作業所などで、換気扇を上の方に取付けますと、室内の綿ほこりが舞い上がりますので、このような場合には、換気扇を下の方へ取付けてください。綿ほこりも上の方へ舞い上がることもなく、下の方へ誘導排気されます。

このように人体に有害な粉じん・綿ほこり・ガスなどが発生する場合には、これが作業者の顔面付近を通過しないよう、下向き換気をすることが大切です。



綿ほこりのたつ作業場
(下向き換気の例)

4．倉庫の場合

●倉庫などでは、荷物の置き具合を考慮に入れて、空気の停滞することのないように小さく分割して、換気するようにしてください。また、特に倉庫内は密閉されがちですので、空気の取入口も必ず設けてください。

■空気取入口について

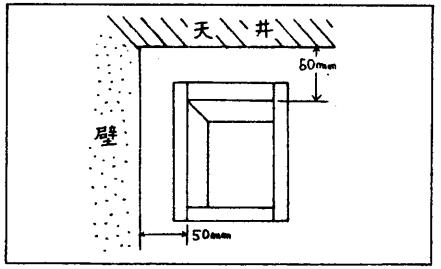
●汚れた空気を室外に排出するとき、新鮮な空気の入るところが必要です。なるべく換気扇の反対側に、換気扇の木枠と大体同じ大きさの空気取入口を設けてください。

■取付方法

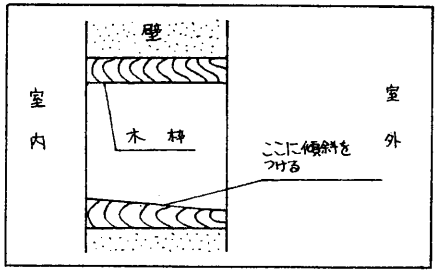
取付位置が決定しましたら、次の方法で取付けてください。

1．取付枠(木枠)を作ります。(50cm換気扇を除く)包装箱にある木枠寸法、または、外形寸法図から木枠を作ってください。板の厚さは18mm以上のものを使用してください。

2．木枠を壁に取付けるときは、天井や、左右の壁から、木枠の内側までの寸法を50mm以上とってください。



●木枠の室外側下部を図のように傾斜させておくと、雨水の浸入を防ぎます。



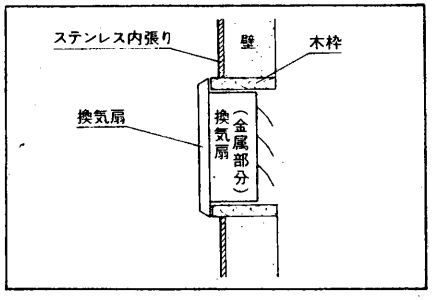
ご注意

●木枠の固定が不充分ですと、騒音の原因になりますので、しっかりと取付けてください。

●金属壁面と換気扇の絶縁処理について

電気技術基準（電技182）によれば、「メタルラス張り・ワイヤラス張り、または金属張りなどの木造の建物に換気扇を取付ける場合は、メタルラス・ワイヤラス、及び金属板などと換気扇の金属部分とが、電気的に接続しないように施設をしなければならない」とされています。

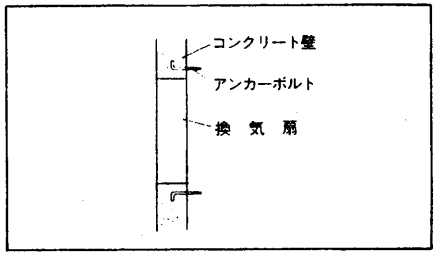
例えば、ステンレスで内張りされた壁に換気扇を取付ける場合などでは、下図のように、木枠に出張りを設けるか、ステンレスと換気扇の間に絶縁物をはさんでください。



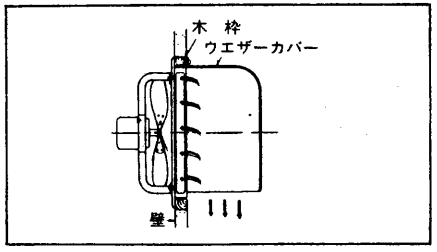
3．木枠を傾けて取付けますと、風圧式シャッターの開閉に無理がかかりますので、垂直に取付けてください。（シャッター付き換気扇の場合）

4．木枠に本体を取付けるには、取付枠部分の小さな穴を利用して木ネジで充分締付けてください。なお、コンクリート面など、木ネジの使用ができないところに取付ける場合は、大きい方の穴を使用してアンカーボルトで取付けてください。

50cm換気扇は大形であるため、木ネジ使用はできません。アンカーボルトで確実に取付けてください。



5．取付場所が季節風など強い風の当たるところでは、図のようにウェザーカバーを鉄板などで作って、取付けるようおすすめします。



6．防爆指定の場所には使用できません。

■ご使用方法

S3・SN3・A3・S3U・S3Y・QA3タイプの場合（スイッチのない場合）

1．本換気扇には、スイッチが付いていませんので、市販されているスイッチを手近な柱や壁に取付けてご使用ください。

2．事務所・工場・倉庫などでは一つの電源スイッチで、数台の換気扇を一度に操作できます。

●配線工事は、専門の電気工事店にご依頼ください。

●配線工事は、使用場所・使用機器に応じた方法で実施してください。

3．湿度の高い場所では、必ず接地工事（アース工事）を行なってください。

また、200Ｖ系の換気扇を使用する場合も、必ず接地工事（アース工事）を行なってください。

QS3タイプの場合（スイッチ付きの場合）

取付けが終わりましたら、換気扇の操作がしやすいように引きひもの長さを調節してください。にぎりの位置は、目の高さが最も使い易い高さです。

換気するには

●引きひもを引きますと、連動スイッチが働いてシャッターが開くと同時に羽根が回り、換気を始めます。

止めるには

●引きひもを引きますと、連動スイッチが働いてシャッターが閉じ羽根が止まります。